

いただいたご意見とその対応(案)について

意見 No	意見 分類	意見内容	対応（案）及びご意見に対する回答	該当 ページ
1	水質	<p>福島県より引っ越してきたが、仙台の水道水の塩素臭さに驚いた。他の都市部と比べたらまだ良いのかもしれないが、塩素臭さをどうにかして、杜の都らしいおいしい水道水にしてほしい。</p>	<p>《基本計画（案）での対応》</p> <p>お客様の声を踏まえながら、より安全で良質な水道水を供給していくための取り組みについて、計画（案）の 23 ページに記載しておりますが、今回いただいたご意見も踏まえ、お客様に快適に水道水をご利用いただけるよう、より質を重視した取り組みを進めてまいります。</p> <p>◇中間案に記載済み。今後の取り組みの中で対応してまいります。</p> <p>《ご意見に対する回答》</p> <p>水道水の水質につきまして、「IV現状と課題」の「2（2）水質管理及び浄水処理の充実・強化」において、さらなる水質管理・浄水処理の充実に向けて取り組む必要性を記載しております。そのうえで、「基本的方向性 1（2）浄水処理の充実・強化」において記載しているとおり、お客様の声を踏まえながら、良質な水道水をお届けするための水質目標などを独自に設定し管理するなど、安全性を確保しつつ、お客様に快適に水道をご利用いただけるよう、より質を重視した取り組みを進めてまいります。</p> <p>なお、水道水には水道法に基づき、消毒のための塩素が添加されており、ご家庭の蛇口において確保しなければならない塩素濃度も規定されておりますが、塩素濃度は時間とともに低下するため、浄水場などの塩素注入地点から近いご家庭と遠いご家庭では、塩素濃度に違いが生じることもございます。今回いただいたご意見も参考とし、今後とも、水道局では気温その他の状況等を考慮しながら、適切な塩素濃度の管理に努めてまいります。</p>	9、23

意見 No	意見 分類	意見内容	対応（案）及びご意見に対する回答	該当 ページ
2	水道料金	<p>厳しい財政状況と施設更新を考えると、近いうちに水道料金の値上げは避けられないのではないか。その際には事前のPRが大切と思われる。</p>	<p>《基本計画（案）での対応》</p> <p>水道施設の更新需要の増大への対応や、広報の充実については、計画（案）の38ページ及び32ページにそれぞれ記載しておりますが、今回いただいたご意見も踏まえ、さらなる事業運営の効率化やコスト縮減に努めるとともに、経営状況や水道料金などに関する広報を充実してまいります。</p> <p>◇中間案に記載済み。今後の取り組みの中で対応してまいります。</p> <p>《ご意見に対する回答》</p> <p>ご指摘のように、今後、これまでの拡張事業期に集中的に整備してきた施設の更新需要の増大が見込まれておりますが、更新に要する財源の確保にあたっては、「基本的方向性5(2)財政基盤の強化」において記載しているとおり、さらなる事業運営の効率化やコストの縮減を図ることで、現行料金を維持できるよう努めてまいります。</p> <p>また、本基本計画期間中に、料金制度の見直しを進める際には、「基本的方向性3(2)広報・広聴機能の充実」において記載しておりますが、経営状況や今後必要となる施設更新などの事業規模などについても十分情報提供を行いながら、お客さまへの説明責任を果たしてまいります。</p>	17、38、32
3	技術の 継承	<p>職員の構成からすると、数年以内にはその多くが定年を迎えるのではないかと。技術の継承のための受け皿会社（出資会社）をつくり、後任者の指導をしてもらうのも一方法である。</p>	<p>《基本計画（案）での対応》</p> <p>人材育成や技術継承の取り組みについては、計画（案）の38、39ページに記載しておりますが、今回いただいたご意見も踏まえ、こうした取り組みを充実してまいります。</p> <p>◇中間案に記載済み。今後の取り組みの中で対応してまいります。</p> <p>《ご意見に対する回答》</p> <p>ご指摘のように、平成20年度末時点で技術職員のうち50歳以上が40%以上を占めるなど、今後、水道事業を支えてきた多くの技術職員が定年退職を迎えることとなりま</p>	17、38、39

意見 No	意見 分類	意見内容	対応（案）及びご意見に対する回答	該当 ページ
			<p>す。「IV現状と課題」の「7(4)事業の運営体制」において、水道技術の継承を図っていく必要性を記載しております。そのうえで、「基本的方向性 5 (3) 人材育成・技術継承」及び「基本的方向性 6 (1) 広域化・広域連携の強化」において記載しているとおり、職員研修所や体験型研修施設を活用した技術研修の充実などを図り、技術継承を進めてまいります。その際には、水道局内はもとより、民間事業者や退職者などとの連携を図ってまいります。</p>	